広報 かるまい11

平成26年（2014年） No.668

今月の主な内容

■町の家計簿を公表 …… 2～3
■軽米の「食」 …… 4～7
■雪谷川で夢灯り …… 8
■町民体育祭 …… 9

町民体育祭のアトラクションとして行われた園児たちによる駒踊り。草を食み、水を飲み、草原を駆ける馬を元気いっぱい表現しました。（9ページに関連記事）

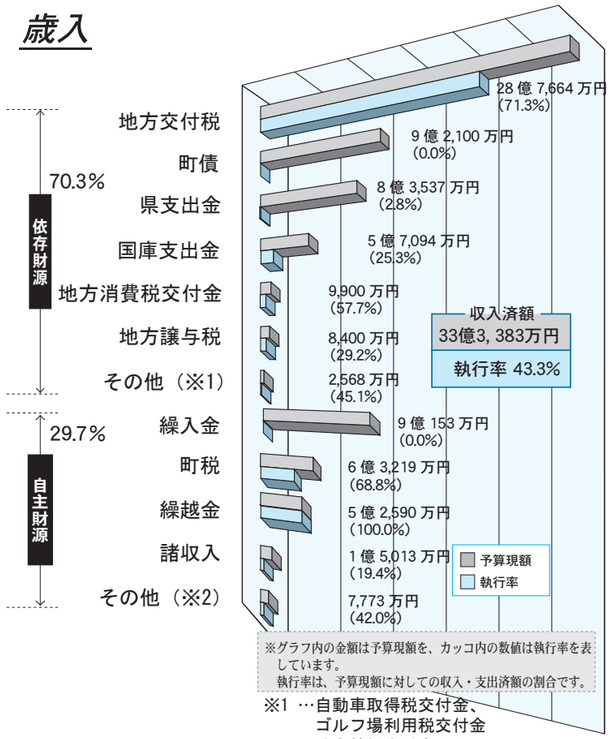
町の家計簿を公表

町の予算は皆さんが納める町税、国や県からの補助金、交付金などで賄われ、住みよい町づくりに使われます。

今回は、平成26年度(平成26年9月末現在)における財政状況について説明いたします。この財政状況の公表（年2回）は、町民のみなさんに町財政がどのように運営されているのか、また、どのような状況になっているのかを広く知っていただくために公表するものです。一般会計などの予算の執行状況、町有財産、町債の借入状況、その他町財政に関する事項について説明します。

予算額は77億11万円

（平成26年9月30日現在）



※グラフ内の金額は予算現額を、カッコ内の数値は執行率を表しています。
執行率は、予算現額に対しての収入・支出済額の割合です。

※1 …自動車取得税交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金ほか
※2 …分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金

一般会計

平成26年度の一般会計予算は、当初68億7300万円でスタートしました。

上半期で4回の補正を行い、8億2710万9000円を増額し、総額は77億10万9000円となりました。

☆一般会計の補正措置

●補正予算第1号【第28回臨】
7350万9000円を増額措置。主な内容は、臨時福祉給付金4025万円、特産品開発業務委託料902万2000円などです。

●補正予算第2号【第30回定】
7億387万円を増額措置。主な内容は、被災農業者向け経営体育成事業費補助金2億1582万円、旧小学校・プール解体工事費1億731万8000円、除雪機械購入費5692万6000円などです。

●補正予算第3号【第32回臨】
1182万6000円を増額措置。主な内容は、創年のたまり場推進協議会補助金1000万円などです。

●補正予算第4号【第33回定】
3790万4000円を増額措置。主な内容は、人事異動等による給与費等の補正、晴山地区保育施設に係る備品購入費2000万円、同工事請負費1335万円、電気自動車用充電設備設置工事請負費592万2000円などです。

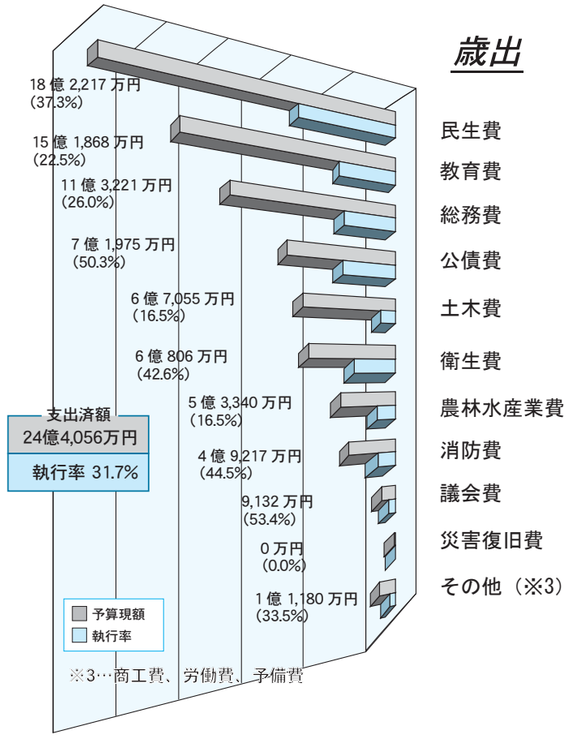
（※定＝定例会　臨＝臨時会）

☆予算の執行状況

歳入43％
歳出32％　を執行

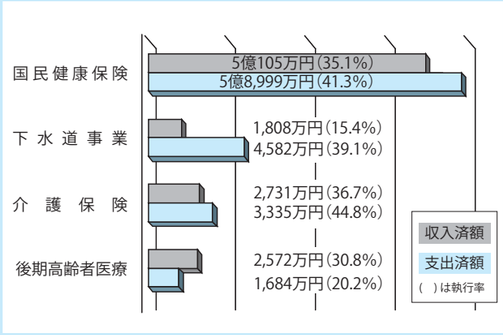
9月30日現在、歳入予算の執行率は予算額に対して、43・3％（昨年同期45・4％）、歳出予算の執行率は、予算額に対して31・7％（昨年同期34・9％）となっています。詳しくは、各グラフをご参照ください。

平成26年度の一般会計



※3…商工費、労働費、予備費

特別会計の執行状況



■水道事業会計（収益的収支）の執行状況

	科　目	予算額	収入済額
収益	水道料金	1億7,958万円	8,593万円（47.8%）
	一般会計補助金	1億2,183万円	6,047万円（49.6%）
	その他の収益	9,374万円	4,917万円（52.4%）
	合　計	3億9,515万円	1億9,557万円（49.4%）

	科　目	予算額	支出済額
費用	水をつくる費用	1億2,963万円	5,386万円（41.5%）
	施設の減価償却	2億1,012万円	1億506万円（50.0%）
	借入金利息	4,939万円	2,413万円（48.8%）
	その他の費用	899万円	0万円（ 0.0%）
	合　計	3億9,813万円	1億8,305万円（46.0%）

※（ ）は執行率

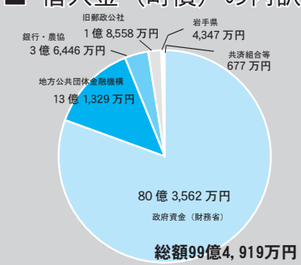
※年度末に一括処理している減価償却費及び長期前受金戻入は、月割りで計上
平成25年度の給水原価は約４９４円／㎥、販売単価は約２７３円／㎥
※給水原価…水道水を届けるために必要な費用
販売単価…水道料金１立方㍍あたりの平均単価
（不足分は一般会計からの繰入金で賄いました）

■ 町が所有する財産の状況

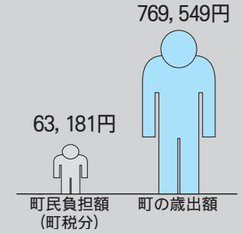
（公有財産には水道事業を含む、平成26年9月30日現在）

公有財産	土地	502万5,443㎡	山林	286万9,780㎡	建物	8万6,898㎡
	無体財産（商標権）	3件	出資による権利	5,518万円	有価証券	5,163万円
債権	貸付金	404万円	基金 土地	74万6,659㎡	基金残高	26億9,944万円

■ 借入金（町債）の内訳



■ 町民一人当たりに換算すると



健全化判断比率の公表

財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を、４つの指標から客観的に判断します。本町は赤字額はなく実質公債費比率及び将来負担比率は減少しました。

平成25年度　（単位：％）

区　分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
軽米町の比率	－	－	10.9（12.3）	77.3（77.7）
県内市町村平均	－	－	12.1（12.6）	53.6（61.7）
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

※赤字額がない場合は「－」を記載している。（ ）は前年度比率

資金不足比率の公表

公営企業会計ごとに資金不足比率（資金の不足額の事業規模に対する比率）を算定します。本町の資金の不足額はありません。

平成25年度　（単位：％）

会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	－	20.0
下水道事業特別会計	－	20.0

※資金不足額がない場合は、「－」を記載している

財政用語ミニ辞典

実質赤字比率：一般会計等を対象とした実質赤字額の比率
連結実質赤字比率：全会計を対象とした実質赤字額または資金不足額の比率
実質公債費比率：一般会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の比率
将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の比率
※上記は全て、標準財政規模（一般財源の標準規模を示すもの）に対する比率

早期健全化基準：地方公共団体の財政状況が悪化した場合、自主的かつ計画的にその財政の健全化を図るべき基準として政令で定める数値
経営健全化基準：公営企業の経営の健全化を図るべき基準として政令で定める数値

特集　軽米の『食』

食フェスタinかるまい2014

軽米『食の祭典』は好天に恵まれ約5000人の大盛況

軽米の「食」が大集合 美味しいがいっぱい

町役場の駐車場を特設会場として10月19日に開催された『食フェスタinかるまい2014』は雲一つない好天にも恵まれ、およそ5000人の来場者が軽米の『食』を楽しみました。

開会式に先立ち、『第2回かるまいブランド認証式』が行われ、今回は4つの企業から9つの商品が認定を受け、横井内留次郎商工会長から認定証が贈られました。

食生活改善推進協議会や生活研究会など、町の『食』に携わるたくさんの団体が参加し、地元の食材を使ったひっつみ、ダルマヒエそば、雑穀入りの葛もちや串もちなどを販売しました。

食べ物以外にも町大工組合による大工体験や白煙会による木炭展示販売などさまざまなテントが並びました。

イベントでは食フェスタの恒例となった五穀にちなんで55、9メートルの長さの裏巻き寿司作り（136人参加）や36メートルのロールケーキ作り（80人参加）に挑戦。一列に並んだ参加者は、隣の人と息を合わせてきれいに巻き上げると、途中で切れることなくみごとに完成しました。

雲一つない青空の下、多くの来場者で会場は賑わっていました。

今年で8回目を数える食フェスタ in かるまい。

4企業の9品目が認証された第2回かるまいブランド認証式

農村青年クラブ（4Hクラブ）によるもちつき。ついたもちは来場者に振舞いました

開会セレモニーでのもちまきは大勢の人出で賑わいました。

新鮮野菜などが並べられた軽トラ市

同時開催
軽トラ市 with ご当地グルメ

役場前を会場に同時開催された町商工会青年部による「軽トラ市 with ご当地グルメ」。町内の特産品が並べられた軽トラ市のほか、笹渡の星流太鼓やジャズバンドの演奏などが行われました。また、新そばの早食い大会では優勝をめざして茹でたての新そばを一気にすするなど、訪れた人々は、口だけでなく目や耳でもフェスティバルを楽しんでいました。

うまいけど熱い！新そばの早食い大会

町産ホップ使用のビールを一足早く味わう

ホップまつり開催

軽米産を含む東北産のホップだけを使用した限定ビールを楽しむ『ホップまつり』(同実行委員会主催)が10月18日瀧村屋で開催されました。

町を含む関係5市町は平成25年8月にサッポロビール(株)及びサッポロホールディングス(株)との包括連携協定を締結。協定の共通連携事項『ホップ生産の歴史や豊かな恵みを活かし、未来をつくる町づくりに関すること』に基づき、岩手県北ホップ農業協同組合(長井重男組合長)が生産した26年産ホップを100%使用した東北限定ビールが10月21日発売されることに伴いイベントを実施しました。

主催者を代表し山本町長は「ホップを仲立ちとして、その生産の歴史を未来のまちづくりにもつなげていきたい。生産者の皆さんが手塩にかけたホップで作られたビールは味もひとしおのことと思います」とあいさつ。また、長井組合長は「8月に収穫したばかりのホップを100%使用したビールを味わってください」と自信をもって紹介しました。

利きビール大会などで盛り上がりました

10月21日に発売された、東北ホップ100%限定ビール

郷土の味を巡る旅

第23号伝統食列車

16年ぶりに岩手を巡る『伝統食列車』が『第23号　食も農も再生可能エネルギーも地域づくりと発展のために。羽ばたけ雑穀文化』と題し10月23日に町を訪れました。

日本の伝統食の継承・発展と新しい食文化の創造を掲げる『日本の伝統食を考える会』の会員50人。遠く福岡県から参加した会員らは県北農業研究センターを視察した後、町農村環境改善センターで町の食に携わる各団体のメンバーらが作った料理で交流会を行いました。

米の代わりに糯アワを使った鳥飯には「普段はご飯に少量混ぜて食べるだけの雑穀をメインとして食べたのは初めて。モチモチとした食感がとてもおいしい」と好評でした。

かっけ、ひっつみなど伝統の味に興味津々の参加者

待望の博士が誕生

食文化マイスター認定式

平成26年度の軽米町食文化マイスター養成講座の最終日となった10月4日、既定の受講回数に達した受講生らに学位を贈る認定式が行われました。

昨年から始まった講座で今回初めて最高学位となる博士(規定受講回数6回)が8人誕生しました。講義は年に3回実施するため、博士取得は最短でも2年がかかります。今回博士を取得したのは第1回講座から皆勤賞の皆さんで、今後は自分たちでメニューを考案し講座を開くと認定される大使を目指します。

初の認定証を受け取った修了生ら

平成26年度食文化マイスター修了生(敬称略)

氏　名	学位(受講回数)
日沢　志奈子	博士(6回)
沼崎　邦子	博士(6回)
菅原　いく子	博士(6回)
駒目　はるえ	博士(6回)
三ヶ森　惠子	博士(6回)
久保　滿子	博士(6回)
高橋　靜子	博士(6回)
工藤　佐紀子	博士(6回)
苅谷　静子	修士(4回)
土佐　幸子	修士(4回)

～『軽米の特産品』を『軽米ブランド』へ～

雑穀の『いま』と『これから』(前編)

軽米の特産品『雑穀』とは

サルナシ、木炭、黒毛和牛、そして雑穀。町のさまざまな特産品の中でもいま、雑穀を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。

近年、雑穀の価値が見直されてきた要因の一つに、社会的な健康ブームにより注目された雑穀の持つ栄養価の高さがあります。穀物一般に含まれる炭水化物や脂質、タンパク質を含有しているほか、たくさんのビタミンやミネラル、必須アミノ酸などが多く含まれています。また、脂肪の代謝を助けるといわれるビタミンB群や、腸内環境を整えるとされている食物繊維の豊富さから、女性からの支持も高まっています。

キビには、ビタミンB1やB6、亜鉛が含まれ、ヒエはビタミンB6やカリウム、リンを含むなど、種類によっても主な栄養素が変わるため、数種類をブレンドしてごはんなどの主食と混ぜて食べられることが多い雑穀。国内でも有数の雑穀生産地である軽米町が、一流ホテルの調理部長の目に留まりました。

ホテルニューオータニで町産雑穀使用のメニュー提供

東京都千代田区にそびえる国内有数のホテル『ホテルニューオータニ』で調理部長を務める中島眞介さんに無農薬で栽培した町の雑穀が認められ、同ホテルの料理に使用されることとなりました。

10月上旬よりホテル内の菓子店『パティスリーSA(さ)TSUKI(き)』で販売されている『シリアルコーンマフィン』は、町の雑穀8種類をブレンドし粉末状にしたシリアルパウダーとバター、牛乳、卵を使用し、見た目はシンプルながら素材を活かした濃厚な味でした。

先んじて町の雑穀を使用したパンケーキが9月下旬から大阪、幕張のホテルニューオータニで提供されており、2つのホテルでも今後シリアルコーンマフィンは販売される予定です。

また、同ホテルで中島シェフ本人がプロデュースする『麺処NAKAJIMA(なかじま)』では、町産のダルマヒエとソバを使用したメニューの開発に取り組んでおり、今後も新商品が登場するかもしれません。

ホテルニューオータニ東京で販売されている『シリアルコーンマフィン』

新商品『シリアルコーンマフィン』を手にする中島シェフ(左)と山本町長

中島さんが町で生産現場を視察　料理教室も開催

中島シェフは、使用する雑穀を生産の様子から自分の目で見て確かめるため、10月4日に来町しました。護穀生産部会会長の川原木賢一さん(車門)のアワのほ場を視察し、無農薬での雑穀栽培を確認。その栽培の難しさやそれぞれの雑穀の特徴について生産者と意見を交わしました。

町農村環境改善センターに場所を変えての料理教室では「雑穀の雑という言葉がマイナスイメージになっているのではないか。シリアルとしてみては」という提案のもと、シリアルサブレの作り方を食生活改善推進員ら関係者に伝授しました。バターの甘さの中に雑穀の香ばしさが広がる、しっとりとした歯触りのサブレは好評で、今後は材料費などのコスト面を検討しながら、町の新たな商品としての開発にも期待が高まります。

町の雑穀(シリアル)については2部構成でお伝えします。来月号では、町の雑穀生産を取り巻く現状や生産者の声、その中から見えてくる課題と今後の展望などについて取り上げます。

川原木賢一さん(左から3人目)のほ場を視察した中島シェフ(同2人目)

中島シェフの手さばきに見入る参加者ら

～豪雨災害から15年～

「絆」の大切さ伝える 雪谷川で夢灯り

平成11年10月28日に町を襲った豪雨災害から15年の節目となる今年。町自治公民館連絡協議会（大崎幸男会長）は、9月27日に「夢灯り」を開催しました。雪谷川河川敷に並べられた約1100個のキャンドルは道行く人の目を楽しませていました。

当日は午後1時30分から、各地区の自治公民館のメンバーやボランティア約50人が防災センターに集合し、準備作業に入りました。キャンドル用の瓶の汚れ落としやろうそくの詰め込み作業など、一つひとつを丁寧に手作業で行い、出来上がったキャンドルはアイディアを出し合いながら、文字や記号などに飾りつけられました。

あたりが薄暗くなった午後4時30分に、見学者が見守る中、一斉に点火すると、1100個のキャンドルが暖かな光を放ち、河川敷には「軽米」「絆」「2014」などのメッセージが浮かび上がりました。

河川敷を彩る様々な飾りが施された夢灯りは、事前に行われた町民講座「夢灯り作り教室」で手作りされたものが使われました。

開会式では大崎会長が「豪雨災害から15年を迎える今年、災害復興と地域づくりの『絆』の大切さなどの思いを込めてこの夢灯りを開催することにしました」とあいさつ。

午後5時には、町防災センターで郷土食・創作料理試食コーナーも開設され、大清水地区で生産された大豆やしょうゆを使った寄せ豆腐や笹渡地区の牛乳をふんだんに使ったシチューなど5つの自治公民館が自慢の料理を振る舞いました。訪れた約1000人の来場者は、優しく光るキャンドルを見ながら、温かい料理を堪能し、町を襲った豪雨災害から復興した軽米町の「絆」を再確認していました。

①町民講座で行われた夢灯り作り教室
②ボランティアによる準備作業
③浮かび上がる「2014」と「絆」
④町民講座で作成した手作りの夢灯り
⑤郷土食・創作料理の試食

10.28豪雨災害とは

（岩手県社会福祉協議会所有）

平成11年10月27日の夜に降り始めた雨は翌28日までに総雨量230㍉以上を記録。これは平年の年間降水量の4分の1に及び、200年に1度の災害と言われています。全半壊住宅30棟、床上・床下浸水住宅583棟をはじめ、農地や道路、河川など被害総額は260億円を超えました。

第36回町総合体育大会

山内チームが総合優勝

町民体育祭は笹渡が優勝

町総体総合優勝を喜ぶ山内チーム

ハートフル・スポーツランドで10月5日、今年で36回を数える軽米町総合体育大会（以下「町総体」）の最終種目、町民体育祭が開催されました。

8チーム、総勢約700人が優勝をめざして綱引きや年代別リレーなど6種目で競い合った結果、笹渡チーム（以下地区名のみ表記）が最初の種目から一度もトップを譲らず優勝を飾りました。

当日は、園児たちによる駒踊りや得点対象外となる3つのオープン種目など、競技以外でも参加者全員で心地よい汗を流しました。

また、トップの上舘連合を2位の山内が追う形だった町総体の最終成績は、体育祭で3位に食い込んだ山内が、中間順位6位から体育祭での猛追を見せた笹渡を1点差で振り切り、7連覇を阻止された昨年の雪辱を晴らし、見事に総合優勝を飾りました。

第36回町総体最終順位

総合順位	チーム名	総得点	町民体育祭順位
優勝	山　内	143.5	3
2	笹　渡	142.5	1
3	軽米中央	140.5	2
4	観音林	133.5	5
5	上舘連合	127.5	7
6	米　田	127	6
7	下新町	96.5	4
8	小軽米	90.5	8
9	上新町	52	－
10	増子内	39	－
11	軽米東	37.3	－
12	晴　高	34	－
13	小玉川	32	－
14	向川原	24	－
15	長倉・駒木	16	－
15	円　子	16	－

元気に体力づくりマラソン

選手宣誓の山田晟也くん（山内）

5人の息をあわせて（物干し竿リレー）

オープニングでは園児らが可愛らしい駒踊りを披露

ゴールまで油断は禁物（むかで競争）

町民体育祭優勝の笹渡チーム

同時開催　町民健康まつり

体育祭と同時に開催された第29回町民健康まつり。

会場には、健康に関するさまざまなコーナーが設けられました。健康チェックコーナーでは、血圧や体脂肪、メタボ度などのチェック、転倒予防コーナーでは健脚度測定・評価・指導などが行われました。

町民体育祭の競技の間に行われたわくわくウォークラリーや太極拳リズム体操への参加者らは効果的な体の動かし方や歩き方を学び、健康づくりへの意識を高めていました。

（上）箸で豆を拾って脳トレにチャレンジ！
（右）脳卒中を斬る！九戸政実くん登場

税制改正により

平成２７年度から軽自動車税などが変わります！

★原動機付自転車、二輪車、小型特殊自動車等

◎平成27年度より、次のとおり新税額が適用となります。

種　　別	標識色	排　　気　　量	税　　額	
			現行税額	新税額
原動機付自転車	白	50cc以下	1,000円	2,000円
	黄	50cc超90cc以下	1,200円	2,000円
	桃	90cc超125cc以下	1,600円	2,400円
	青	ミニカー	2,500円	3,700円
小型特殊自動車	緑	農耕作業用	1,600円	2,400円
		その他（フォークリフト等）	4,700円	5,900円
軽二輪	白	125cc超250cc以下	2,400円	3,600円
小型二輪	白	250cc超	4,000円	6,000円

★三輪及び四輪以上の軽自動車

軽自動車の新規登録日によって税額が異なります。

①平成27年４月１日以降に新規登録される車から新税額が適用されます。

②平成27年３月31日までに新規登録した軽自動車は、新規登録から13年を経過するまでは、現行税額が適用されます。

③新規登録から13年を経過した軽自動車については、平成28年度から重課税額が適用されます。

種　　別				税　　率		重課税額
				現行税額	新税額	
軽自動車	三輪			3,100円	3,900円	4,600円
	四輪	乗用	自家用	7,200円	10,800円	12,900円
			営業用	5,500円	6,900円	8,200円
		貨物用	自家用	4,000円	5,000円	6,000円
			営業用	3,000円	3,800円	4,500円

★法人町民税の改正

法人町民税（法人税割）の一部が国税化され、その税収全額が交付税原資とされることとなりました。これに伴い地方税法が改正され法人町民税（法人税割）の税率が引き下げられます。なお、平成26年10月１日以降に開始する事業年度分から適用されます。

改正後の税率９．７％（現行１２．３％）

固定資産評価審査委員に川口さん再任

９月に行われた軽米町議会定例会で、任期満了に伴う固定資産評価審査委員の選任に関し、川口幸雄さんが再任されました。

川口さんは、平成17年９月に就任以来現在まで審査委員を３期務め、今回の任期は平成29年９月５日までです。

川口　幸雄さん（71歳、蛇口）

固定資産評価審査委員会とは？

固定資産評価審査委員会とは、固定資産台帳に登録された価格について不服の申し出があった場合に、審査や決定などを行うため市町村に置かれる中立的な第三者機関です。

元町体育指導委員 下又善作さんに 文部科学大臣表彰

第55回全国スポーツ推進委員研究協議会岩手大会が９月25日盛岡市アイスアリーナで開催され、下又善作さん（桜山）がスポーツ推進委員功労者に対する文部科学大臣表彰を受賞しました。

「この表彰を受けられたのも、町のスポーツの発展のために一緒に汗を流してくれた体育指導委員をはじめ、多くの皆さんの支えがあったからです」と下又さんは語ります。

下又さんは、昭和55年から平成23年までの31年間、町の体育指導委員（現スポーツ推進委員）として活動し、平成９年から15年までは同協議会の会長も務めています。町の協会で自らが会長を務めるゲートボール競技を中心に町のスポーツの普及と発展に寄与されました。

また、ハートフル・スポーツランドのパークゴルフ場のオープンの際には、パークゴルフ発祥の地、北海道幕別町まで赴き、公認指導員の資格を取得。その後はパークゴルフの指導や普及活動に尽力され、平成９年には町パークゴルフ協会を設立し初代会長を務められました。平成21年８月に東京外国語大学の外国人留学生らが当町でホームステイを行った際には、パークゴルフの指導や一緒にプレーを行うなど、普及に対する情熱は町の外にも及んでいます。

今年度の同賞の受賞者は全国で86人で、岩手県内では下又さんただ一人。受賞者を代表しての謝辞では、「本日の歓びと感謝を忘れず、生涯スポーツの普及発展のため、より一層の研鑽と努力を重ねます」と力強くあいさつしました。

同席したスポーツ推進委員の仲間と共に、受賞会場で記念撮影

東京外国語大学の学生らにパークゴルフのルールを教える下又さん（右）

空手県大会で活躍

八幡平市で９月28日に行われた日本空手協会第16回岩手県空手道選手権大会で晴山小学校６年の山仁杏結（あむ）さんが初級形の部で優勝、同組手の部で準優勝に輝き、同じく６年の河村尚緒（なお）くんは初級形の部で第３位に入賞しました。また、一般の部男子団体の中堅として出場した加藤康有（やすゆき）さん（向川原）はチームを第３位に導きました。

山仁さんは、形の部で優勝を飾った後の組手の部でも順調に勝ち進み決勝に臨みました。組手の部では、１分30秒という試合時間の中で１本、もしくは技あり２つを取れば勝利となります。先に技ありを取った山仁さんでしたが、相手に技あり２つを返され惜しくも優勝はなりませんでした。

河村くんは左手の負傷により、残念ながら組手の部は棄権したものの、痛みを押して出場した形の部では堂々の３位に入賞しました。

小学生の二人は空手を始めてまだ２年ほど。日本空手協会軽米支部（滝本國雄支部長）の練習は毎週水曜、晴山出張所で行っています。「２人の空手はこれから。大会や昇級試験をかさねて、この先もどんどん強くなると思います」と滝本支部長の息子礼二さんも期待を込めて話していました。

空手や同支部に興味のある方は、滝本支部長（☎０９０―８３７０―１０８０）までご連絡ください。

２つのメダルと賞状を手にした山仁さん（左）と負傷しながらも堂々３位の河村くん（右）

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

交通死亡事故ゼロ３年達成

県警賞賛状贈呈式

勝又署長から賞賛状を受け取る山本町長

町内の交通死亡事故ゼロ継続日数が10月２日で３年を迎え、町は８日に岩手県警察本部より賞賛状を受けました。勝又薫二戸警察署長が役場を訪れ賞賛状を山本賢一町長に手渡すと、町長は「町民、関係機関と一体となって、５年、10年と継続していきたい」と事故防止を誓いました。当町の交通死亡事故ゼロ継続日数は現在、野田村に次いで県内２位の長さとなっています。

炭ができるまで

小軽米小学校炭作り体験

玉舘鉄藏さん（屋敷）の炭焼き場『せせらぎの森』で小軽米小学校の３年生９人が炭作り体験を行いました。９月１日は原木入れを実施。炭窯の入口の小ささと窯の中の広さに驚きの表情。頭をぶつけないよう腰をかがめて入り、台車に載せて運んできた原木をまっすぐな薪は縦に、少し曲がった薪は上に寝かせ、隙間なく並べました。同28日には出来上がった炭を窯から取り出し、炭のブーケを作りました。

炭窯の中に隙間なく原木を並べました

秋風の中を駆け抜ける

町ロードレース大会

第33回町ロードレース大会が10月12日、町中心部で行われました。大会には、小学校１年生から92歳まで約250人がエントリー。参加者は、観客の声援に応えるように、日々の練習で鍛えた健脚を披露。颯爽と秋晴れの町を駆け抜けました。競技終了後には特産品が当たる抽選会が行われ、番号が呼ばれた当選者らは喜びの声を上げていました。

町内参加者の上位入賞者は次のとおりです。（敬称略、〇に数字は順位）

【町内の上位入賞者（各部門３位以内）】

▶10キロの部一般男子30歳～39歳
②須藤一成（軽米町陸協）　36分04秒

▶10キロの部一般男子40歳～49歳
②上山誠（軽米町陸協）　36分33秒

▶３キロ中学校男子
③若山元気（軽米中バスケ部）　10分55秒

▶３キロ中学校女子
①上山遥香（軽米中３年）　11分10秒
②上山礼香（軽米中１年）　11分53秒
③中里悠佳（軽米中１年）　12分00秒

▶３キロ小学校男子
②松橋駿人（軽米ミニバスクラブ６年）　12分33秒

▶３キロ小学校女子
③鶴飼穂香（小軽米小学校５年）　14分09秒

▶３キロ小学校女子（４年生以下）
②佐々木菜月（軽米ミニバスクラブ４年）　13分25秒

▶優秀選手賞
松村慶一（軽米町）
森雅和（軽米ミニバスクラブ６年）

元気よく一斉にスタートを切るランナーたち

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

「みのり～むフェスタおとふけ２０１４」がアグリアリーナで開かれました。音更町産の食材を使った食のコーナーには地元の飲食店などが多数出店し、多くの人でにぎわいました。ゆるきゃら紹介で登場した「モーるちゃん」と「おおそでくん」は子どもたちに大人気でした。

地産地消と食をテーマに

雰囲気抜群ジャズライブ

赤煉瓦JAZZライブ

赤煉瓦JAZZライブ（同実行委員会主催）が10月４日、大町の旧酒蔵を会場に行われました。15周年記念スペシャルとなった今回は、グラミー賞受賞のピアニスト、デビット・マシューズ氏をゲストに迎えた会場に町内外のジャズファンが大集合。内澤多賀志実行委員会長は「気が付けば15年。楽しみに来てくださる皆様に支えられながら続けてこれました」と感謝を伝えました。

美しい音色に、訪れた観客たちは酔いしれました

みんなで創っていく場所

創年のたまり場開所式

「地域の元気を取り戻す」と力強くあいさつする淺水会長

旧円子児童館を活用した施設『創年のたまり場』の開所式が10月7日行われました。施設は①高齢者サロンなど地域の高齢化対策②地域の世代間交流③地元の作物を使った新たな特産品開発―を目的に、創年のたまり場推進協議会が中心となって設立。淺水喜一会長は「創年という言葉には、地域の老若男女すべての人たちの参画を願うという意味を込めている。絆が強く、まとまりのあるこの地域でコミュニティの再生に活用していきたい。」と決意を述べました。

メガソーラー建設に向けて

米田地区太陽光発電施設建設用地調印式

Sky Solar Japan株式会社（東京、陳鋭社長）が町内に建設を進める大規模太陽光発電施設（メガソーラー）建設用地の地権者27人との間に結ぶ契約書への調印式が10月19日に行われました。今回契約を結んだのは米田地区の約156㌶で、推定年間発電量は一般家庭約１万3,000世帯分にも相当する4428万㌔㍗/時。陳社長は2019年の稼働を目指すとし「全社一丸となって建設に努める」と意気込みを示しました。

契約を取り交わし握手をする（左から）陳社長、山本町長、地権者の会代表の松浦求さん

笑顔あつまれ！　みんなの広場

キラキラ光る

野球観戦が大好きです！

小笠原　遥花（はるか）さん
（20歳、大清水）
A型、ふたご座
センサ工業株式会社

Q、自分の性格を一言でいうと？
明るく、楽しい性格だと思います。
Q、現在の職業を選んだ理由、また、実際にやってみてどうですか？
事務の仕事をしたかった。いろんな人と接することができ、勉強にもなるし、楽しいです。
Q、趣味や休日にやることは？
お買い物に行ったり、友達と女子会をしています。最近はまっているのは占いです。
Q、町をどう思いますか？
豊かすぎるくらいの自然が大好きです。でも、冬怖いので、除雪を頑張ってほしいし、道路の側溝をきちんとふさいでほしいです。

▼好きなスポーツ…野球（観戦）
▼好きな色…オレンジ
▼好きな花…ひまわり
▼好きな映画…ターミネーター2
▼今ほしいもの…時間！
▼理想の異性のタイプ…明るくて優しくて、一緒にいると楽しい、頼りになる人。芸能人だと小出恵介さん。

「きらきら光る」登場者を募集中
☆当コーナーでは、町在住、または町で働く若者を紹介しています。
自薦、他薦を問いませんので、下記までご連絡ください。
－問い合わせ先－
役場総務課広報係
（☎46-2111）

今月の俳句（北光吟社9月例句会）

新蕎麦（しんそば）や父母ありし日の炉端かな　中野　とき子
空色と一線画（かく）す秋の潮　丹下　美恵子
台風のそれし安堵（あんど）の月眺む　千葉　紅園
集落の花だん賑はす秋の風　三上　千栄女
行く秋の速さに我の追いつかず　川島　由蔵
草も穂も茫々（ぼうぼう）茂り秋湿（しめ）り　早川　慶子
秋深し折節（おりふし）想ふ義母（はは）と母　中田　紀子
テレビ見つ一枚羽織る夜寒（よさむ）かな　川崎　郁子
貴船菊（きぶね）まず一輪の咲いてより　松村　英子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

みんなの笑顔がうれしいな

ぼくは、学校が大好きです。5年生になっても、いろんなことにチャレンジしています。

山内神楽は、3年生から踊っています。今では、難しい三方こうじん舞も踊れるようになりました。踊りを一つ、また一つと覚えていくことは、とても楽しいです。お祭りで、神楽を踊ると、おじいさんやおばあさんが、うれしそうに笑ってみてくれます。たくさんの拍手をしてくれます。ぼくもうれしくなります。

学習発表会では、ぼくたち5年生は、英語と日本語で「白雪姫」の劇をしました。ぼくは、白雪姫に毒りんごを食べさせる女王の役でした。登場する時、退場する時「イーッヒッヒッヒ」と笑いました。低学年は笑ってくれました。大人はシーンとして見るのかなと思っていたら、笑い始めて、おしまいには、会場全体から笑いが起こりました。とてもうれしかったです。みんなに笑顔になってもらって、ほっとしたような、心が温かくなるような気持ちになりました。これからも、人に喜んでもらえるように、何にでも挑んでいきたいです。

■夢・希望・えんぴつ■

晴山小学校5年
山田　晟也（せいや）さん
（竹谷袋）

軽米の埋もれし宝(71)

～最新の発掘された宝⑦赤石沢遺跡発掘調査の現地説明会～

9月20日、昨年度より発掘調査を開始した赤石沢（あかいしさわ）遺跡の現地説明会を行いました。

赤石沢遺跡は、軽米町東部の小玉川集落から洋野町大野へ向かう町道赤石峠小玉川線上にあり、調査の結果から江戸時代に小軽米地域で盛んだった『たたら製鉄（粘土製の炉に原材料の砂鉄と炭をいれ、フイゴと呼ばれる送風装置で空気を送って高温に燃焼させ、鉄を溶（と）かし出す製法）』を行った跡と考えられています。

当日は、町内外から約50人が参加し、歴史愛好家や友人同士、中には近所から親子で訪れる方もいるなど、この地で行われた『たたら製鉄』に関心を寄せていました。

参加者は実際に発掘調査区の中に入り、間近で遺構などを見ながら行われる発掘担当者の解説に熱心に耳を傾けていました。

普段は地中に埋まり見ることができない遺跡に興味津々の参加者達。特に今回の目玉、長さ約9m、幅約2m、深さ約1．5mもの大きな製鉄炉跡に、参加者は「こんな所に炭が地中深くまでびっしり敷かれた製鉄炉跡があり驚いた」と興奮を隠せない様子でした。

解説が終わった後は、各自で遺跡の中や出土した古銭、陶磁器などを見学していました。時には写真を撮影したり、発掘担当者に質問する様子も見受けられ、それぞれ理解を深めていました。

現地説明会は、発掘調査の成果を広く皆さんにお知らせするために開催されます。今回は、「道路の下に遺跡があるとは知らなかった。来て良かった。」と言って下さる地元の方もいて、町の歴史を少しでも知って頂くことができた説明会となりました。

（教育委員会文化財専門員　赤平瞳）

赤石沢遺跡で発見された遺構の説明に耳を傾ける参加者の皆さん

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～悪徳業者の巧みな言葉に注意を～

悪徳業者はあの手この手で
あなたをねらっています！

二戸警察署管内では、悪徳業者による被害が発生しています！

被害を防ぐキーワードは**「う、そ、つ、き」**です。

９月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	０件	４件	－３
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	０人	８人	－５
物損事故	４件	109件	＋11
救急車出動回数	38回	320回	＋26

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります。

▶今月の飲酒運転検挙者はありません

う
「うまい話、絶対儲かる話を信用しない」
そんな話があるわけがありません、うっかり信じると大変なことに

そ
「相談する」
一人で判断せず、警察、消費者センター、家族などに相談する

つ
「つられて返事をしない」
悪徳業者は、言葉巧みに、時には泣いたり脅したり契約を迫ってきます

き
「キッパリ！ハッキリ！断る！」
あいまいな返事をせず、キッパリ、ハッキリ断りましょう

○しつこい業者は、１１０番または、軽米駐在所（☎４６－２００４）に電話を！

軽米病院だより

岩手県立軽米病院（☎４６－２４１１）

ロコモってなーに？

昨今テレビ等でよく聞く『ロコモ』という言葉をご存知ですか？正しくはロコモティブシンドローム（運動器症候群）の事を指します。「あれ？何とかシンドロームって言うのもちょっと前まで聞いたような」と気づいた方もいらっしゃるかもしれません。そう、『メタボリックシンドローム』ですね。こちらは内臓脂肪症候群のことで、“ダイエットが必要”と言われますよね。

『ロコモティブシンドローム』は運動ができなくなってくる事で、加齢とともに筋力が低下してきて動きが鈍くなってくる、腰や膝が痛くて歩けない等の状況が該当します。これは健康寿命・介護予防を阻む大きな原因となります。

ロコモを予防するためにおすすめなのが「ポール・ウォーキング」です。別名ノルディック・ウォーキングとも言われています。両手に２本のポールを持って歩く事で、何も持たない通常のウォーキングに比べて約1.5倍ものカロリーを消費します。専用ポールも販売されていますが，スキーのストックの代用でも構いません。

なぜポールが良いかというと、足腰への負担が軽減されますし、２本のポールで転倒を予防することでしっかり歩けます。また腕を振るので、二の腕の引き締め効果もあります。継続すると、筋力もついて血行も良くなり、肌つやも良くなりますよ。さらにはメタボの改善にも役立ちます。

ポール・ウォーキングによって「ロコモ」と「メタボ」の両方ともやっつけましょう！！

（副院長・葛西敏史）

図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

今月の図書館ひろば

日時：11月15日 10：00～11：00　対象：幼児
場所：図書館となりの蔵　小学校低学年

ー今月の新刊ー

【児童書】

ももんちゃん　ぴょ～ん

さく・え/とよたかずひこ

（童心社）

ももんちゃんがおひざを ぐりん ぐりん ぐりん。すると、きんぎょさんたちも ぐりん ぐりん ぐりん。音に合わせて、いっしょに体を動かしたくなる絵本です。

中学生中間・期末テストの勉強法

（実務教育出版）

著/高濱正伸・大塚剛史

中学校の定期テスト、なんとなく勉強するだけじゃうまくいかない…!? 点数が上がる教科書の読み方やノートの取り方、暗記の裏ワザなどをわかりやすく紹介します。

【一般書】

木内かつの絵本あそび

著/木内かつ　写真/西山悦子

（福音館書店）

絵や工作、体を使った遊びで絵本の面白さを何倍にもふくらませよう。「はじめてのおつかい」など17の絵本からインスピレーションを得た、子どもと楽しめる造形遊びを紹介。

一人っ子同盟

（新潮社）

著/重松清

一人っ子がめずらしかった“昭和”のあの頃。きょうだいのいないぼくたちは小学６年生の春、小さな同盟を結んだ―。昭和40年代の団地を舞台に描かれる“子供の情景”。

文夫に育つ　元気に働く　健やかに過ごす

健康福祉課（☎４６－４１１１）

高齢者の肺炎球菌予防接種について

健康福祉課
主　事
玉舘　博一

肺炎球菌とは、肺炎・中耳炎・副鼻腔炎・気管支炎・髄膜炎などの病気を引き起こす細菌の一つで、高齢者の肺炎の原因で最も多いと言われています。

肺炎球菌には、93種類の血清型がありますが、このうち重症の肺炎球菌感染症の原因の約７～８割を占めるとされる23種類について、ワクチンの接種を受けることで感染や重症化の予防効果があります。接種後、免疫ができるまで約３週間かかり、効果は少なくとも５年間持続します。

町では、65歳以上の５歳刻みの年齢の方へピンク色の予診票を配布していますので、対象の方は接種をお勧めします。

なお、医療機関によっては、予約が必要な場合や予防接種を実施していない場合がありますので、確認のうえ受けるようにしてください。

（広告スペース）

※広報かるまいでは、町内の業者などからの広告を掲載しています

町のこよみ・かるまいカレンダー

11月　November

16	日	町総体バレーボール競技【体】８：30～
17	月	介護者のつどい【ふ】13：30～15：00
18	火	
19	水	２歳児健診【ふ】13：00～13：30受付
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	はつらつ教室【米田農業構造改善センター】10：00～11：30
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	第42回軽米町郷土芸能まつり【環】13：30～ 休日と夜間の納税相談（～12月2日）【税務会計課】

12月　December

1	月	町税の納期限（国民健康保険税第5期）
2	火	はつらつ教室【ふ】10：00～11：30 【晴山出張所】13：30～15：00
3	水	乳児健診【ふ】13：00～13：30受付
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	町総体ゲートボール競技【おかりや元気館】８：45～
8	月	はつらつ教室【米田農業構造改善センター】10：00～11：30
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	休日と夜間の納税相談（～12月16日）【税務会計課】
15	月	

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

観音林児童館・山内保育園
収穫体験（10月24日）

６月に園児らが植えたサツマイモ

掘り起こしてみると…

こんなに大きくなっていました

自然の恵みに感謝！

お知らせ情報 Information

もっと知ろう みんなの国民年金

後納制度が平成27年9月末までで終了！

後納制度とは、過去２年分しか遡って納めることができなかった国民年金保険料について、平成24年10月から平成27年９月までの３年間に限り、過去10年分まで納めることができる制度です。

この制度を利用することで、年金額が増えたり、納付期間が足りなく年金を受給できないと諦めていた方が受給資格を得られる場合があります。ただし、すでに老齢基礎年金を受けている方、65歳以上の方で受給権を満たしている方は利用できません。

現在、日本年金機構では、受給資格期間（300月）に満たない方等にお知らせを送付していますので、この機会にぜひ後納制度をご利用ください。

後納制度を利用するためには、事前に申込み、審査が必要です。詳しくは、二戸年金事務所（☎23-4111）、国民年金保険料専用ダイヤル（☎0570-011-050）にお問い合わせください。

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

二戸クリニック（☎25-5770）	二戸市石切所	11月16日（日）	ますだ歯科クリニック（☎26-8282）	二戸市石切所
すがわら消化器内科（☎23-2879）	二戸市福　岡	23日（日）	菅原歯科医院（☎27-3301）	一戸町一　戸
金田一診療所（☎27-2205）	二戸市金田一	24日（月）	国香歯科医院（☎23-2233）	二戸市福　岡
むらかみ医院いたみのクリニック（☎48-1500）	軽米町岩　崎	30日（日）	こしみず歯科クリニック（☎33-4618）	一戸町一　戸
よこもり眼科クリニック（☎22-2230）	二戸市堀　野	12月７日（日）	阿部歯科クリニック（☎25-4182）	二戸市福　岡
千葉耳鼻咽喉科医院（☎23-2009）	二戸市福　岡	14日（日）	ほんだ歯科クリニック（☎23-9591）	二戸市石切所

各種無料相談

◎法律相談（要予約）
土地、財産、離婚などの相談にお応えします。
■日時　11月11日、25日（火）10：00～15：00
■場所　二戸消費生活センター
【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター（☎２３－５８００）

◎お金と暮らし相談（要予約）
県消費者信用生活協同組合の相談員が借金の整理や生活資金などの相談にお応えします。
■日時　11月14日（金）　10：00～16：00
■場所　二戸消費生活センター
【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター（☎２３－５８００）

◎多重債務相談（要予約）
弁護士が借金の整理、過払い金返還請求などの相談にお応えします。
■日時　11月18日（火）　10：00～15：00
■場所　二戸消費生活センター
【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター（☎２３－５８００）

◎出張消費生活相談
多重債務、悪質商法、商品の欠陥などのトラブルでお困りの方々の相談に生活相談員がお応えします。
■日時　12月４日（木）　10：00～12：00
■場所　軽米町役場内
【問い合わせ先】二戸消費生活センター（☎２３－５８００）または町民生活課・町民生活グループ（☎４６－４７３４）

11月11日～17日「税を考える週間」
二戸市で作品展開催

私たちの生活と税の役割、税務署の仕事について考えてみませんか。
■日時・場所　11月11日～14日（午前）
ショッピングセンター　ニコア
11月15日～18日（午前）
二戸市民文化会館
詳しくは国税局ホームページ（http://www.nta.go.jp/index.htm）をご覧ください。
【問い合わせ先】二戸税務署（☎２３－２７０１）

臼澤みさきコンサート

■日　時　11月30日（日）　14：00開演
■会　場　二戸市民文化会館　大ホール
■入場料　一般3,000円　中学生以下1,000円
当日券は各500円増
※この事業は二戸市教育委員会の共催事業です。
【問い合わせ先】二戸市民文化会館（☎２３－７１１１）

岩手県共同募金会から各種助成事業のお知らせ

■平成27年度福祉のまちづくり支援事業
申請受付期間
10月15日（水）～11月28日（金）
■公益財団法人車両競技公益資金記念財団「平成26年度高齢者、障害者の支援を目的とするボランティア活動に対する助成」
申請受付期間
10月14日（火）～11月21日（金）
※実施要領と申請様式は同会ホームページ（http://www.akaihane-iwate.or.jp）からダウンロードできます。
【問い合わせ先】岩手県共同募金会（☎０１９－６３７－８８８９）

お詫びと訂正

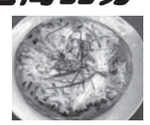
広報かるまい10月号において、軽米町婦人消防協力隊の隊長を「久保滿子」さんとご紹介しましたが、現在の隊長は「松山美子」さんでした。

また、広報かるまい８月号、９月号の「人の動き」に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

８月号（６月末現在）	誤	正
女	5,155人	**5,154人**
合計	10,060人	**10,059人**
転入	８人	**６人**
転出	14人	**13人**

９月号（７月末現在）	誤	正
女	5,150人	**5,149人**
合計	10,046人	**10,046人**

（広告スペース）

歓迎します!!
“かるまい共通商品券”
ダッタンそば粉入り
「そばかっけピザ」

雑穀弁当・仕出し・宴会
食事処 内まる屋（℡４６－２３１８）

２５周年記念イベント
ご注文３万円以上の方に
さるなしの雫プレゼント！
お膳・折詰・弁当
お気軽にご要望ください
☎４６－３６８０
あじさい
味彩

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

広報
かるまい
11
平成26年
11月号
(No.668)

発行／岩手県軽米町　編集／総務課
〒028-6302　九戸郡軽米町大字軽米10-85
電話　0195-46-2111(代)
FAX　0195-46-2335
ホームページ　http://www.townkarumai.iwate.jp/

冠婚葬祭９月分＜敬称略＞

おめでた

（　）内は父母の名

仲　町　戸草内　彩絆（いろは）　（剛・広美）
沢　里　中　村　輝哉（だいや）　（和也・しずく）

おしあわせに

小　村　知　之　（青森県南部町）
外　川　絵理子　（沢　里）

高屋敷　真　（青森県三戸町）
大　舘　綾　子　（市野々）

おくやみ

（　）内は享年

上新町　大清水　ユ　リ　(73歳)
大　沢　於　本　タ　キ　(98歳)
下河南　玉　川　福　松　(66歳)
上新町　坂　本　悦　男　(67歳)
岩　崎　日　山　カ　ヨ　(92歳)
桜　山　工　藤　ヨシノ　(93歳)
下新町　古　舘　仁　(63歳)
和当地　坂ノ上　福太郎　(81歳)
牛ケ沢　高　田　ミ　ネ　(84歳)
下晴山　古　里　謙　二　(91歳)

●人の動き　＜平成26年９月30日現在／町民生活課調べ＞

男　4,884人（−12）	女　5,122人（−14）
合計　10,006人（−26）	世帯数　3,782（−３）

※（　）は前月比

転入　６人（146人）	転出　24人（231人）
出生　３人（36人）	死亡　11人（105人）

※（　）は１月からの累計

※広報紙内においてお名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

ある日の風景

感謝の気持ち伝えたい

孫の蒼大（そうと）くんと一緒に牧場を歩く田中さん（右）

ひめがもり牧場（笹渡地区）で10月26日、『ひめがもり交流会』が開催されました。今年で６年目を迎えたこのイベントは、牧場の代表の田中祐典さん（笹渡）が、地域住民、特にも地元の子どもたちの交流の場にしてほしいと企画。牛の乳しぼりや子ヤギや子犬とのふれあいなど直接見て、触れての体験を行いました。「学校があったときは社会科見学などでも来てもらっていた。地域の子どもたちの笑顔が見れれば幸い。一緒に来た保護者の方たちには、私たちの作っている商品が、どのような場所で、どのように作っているかを知ってもらいたい。」と田中さん。交流の場の提供が地元への恩返しとなっています。

（写真上）ペットボトルで牛乳からバター作りに挑戦。腕が疲れる～
（写真左）牧草ロールをほぐして牛にエサやりも体験しました

ほっとひといき／編集後記

食に関するイベントや動きの多かった10月。町の中で伝統の味を守り続けていく取り組みから町外に向けた新しい味への挑戦まで、様々な角度からのアプローチに触れることができました。実際に口にして感じることは、やっぱり町の食材はおいしい！

夢灯りの記事を書くために当時の広報を読み返すと、そこには小学生だった私が！災害の様子も復興に向かう人々も、記録として残る広報の役割と責任を改めて感じると同時に、ずっと明るい話題だけで広報が作れたらいいな、と願わずにいられません。（小）